

2011年1月

<2011年 年頭所感>

## 本当の意味での強みを発揮する年に

(株)バンダイナムコホールディングス

2010年のバンダイナムコグループは、スピードあるグループへの変革と収益力向上と財務体質の強化を目的に、リスタートプランを実施しました。組織再編や効率化など様々な施策にグループとして取り組んだ結果、その効果が徐々に現れ始めています。事業面では残念ながら海外は苦戦しましたが、トイホビー、コンテンツ、アミューズメント施設の各事業からヒット製品・サービスなどの多くの明るい話題を発信することができました。

2011年は現在進行中の中期経営計画の最終年度です。中期経営計画に基づく戦略推進やリスタートプランの実施、そして何よりも皆さんの頑張りにより、明るい風がグループに吹いてきつつあるのを感じています。

今のバンダイナムコグループは、次のステップまでもう少し、もうひとふんばりという大事な局面を迎えています。気をゆるめたり、攻めやチャレンジを怠ることは禁物です。2011年は、グループ社員全員がもうひとふんばりする勝負の年です。豊富なコンテンツや幅広い事業分野、スピードというバンダイナムコグループが本来持つ強みを存分に発揮し、さらに強いグループとなることを目指しましょう。

我々をとりまく環境は、いつどのように変化しても不思議ではありません。しかし変化は新しい何かが生まれるチャンスでもあります。事業においても、日々の業務においても、良い意味で既存概念や習慣にこだわらず、スピーディに攻めとチャレンジを続けてください。そして我々が展開するのはエンターテインメントです。後を向いても何も生まれません。是非楽しんで仕事をして下さい。

(株)バンダイナムコホールディングス

代表取締役社長 石川祝男

※2011年1月5日にグループ社員向け WEB サイトで配信される予定のトップメッセージより一部を抜粋しました。